

野村総合研究所、日本の富裕層は127万世帯、純金融資産総額は299兆円と推計

2018/12/18

株式会社野村総合研究所

株式会社野村総合研究所(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:此本臣吾、以下「NRI」)は、2017年の日本における純金融資産保有額別の世帯数と資産規模を、各種統計などから推計しました。

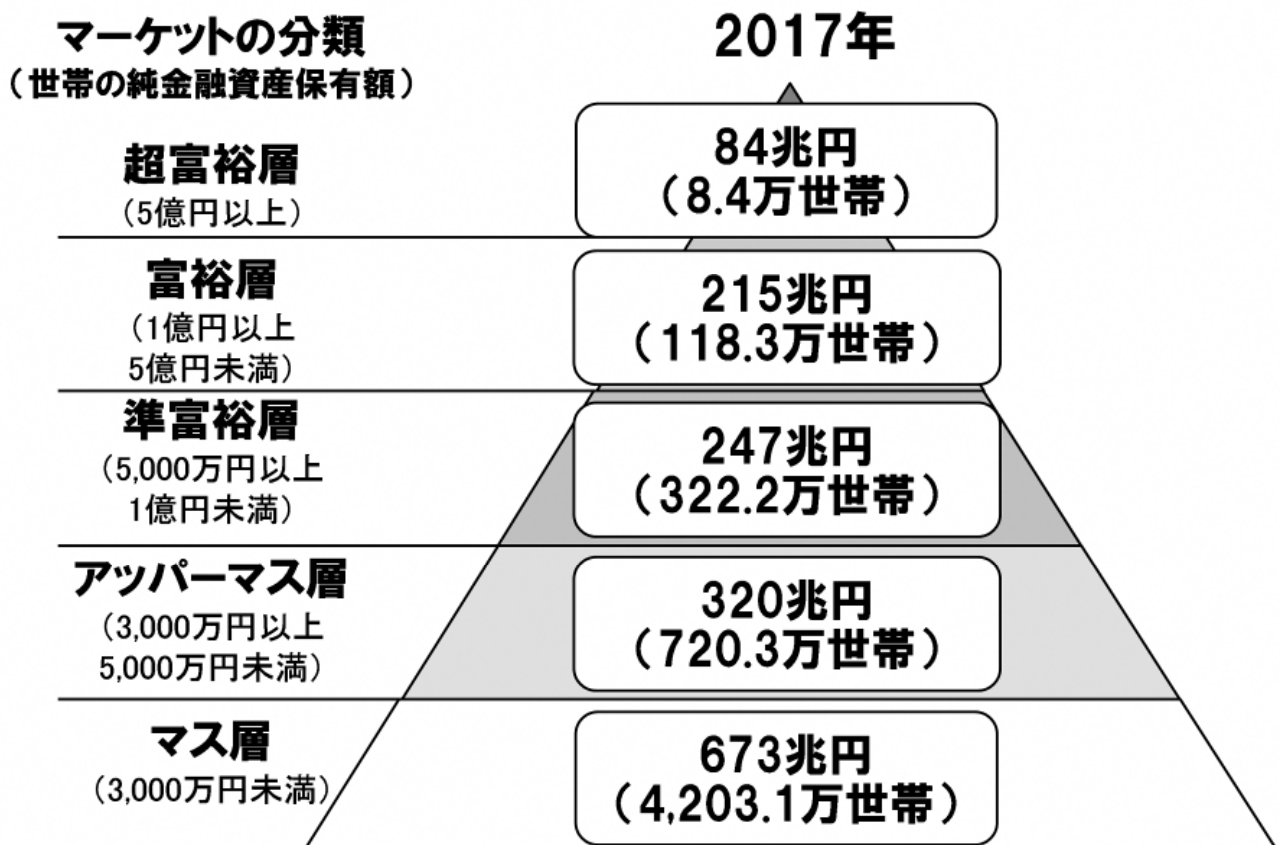
また、2018年2月～3月に、富裕層・超富裕層の子ども・孫である可能性が高い「親リッチ^{※1}」を対象に、「NRI親リッチアンケート調査」を実施しました(有効回答684名)。

主な推計結果と調査結果は、以下のとおりです。

■日本の富裕層・超富裕層の世帯数は、2015年を超えて2000年以降の最多に

預貯金、株式、債券、投資信託、一時払い生命保険や年金保険など、世帯として保有する金融資産の合計額から負債を差し引いた「純金融資産保有額」を基に、総世帯を5つの階層に分類し、各々の世帯数と資産保有額を推計しました。結果は、純金融資産保有額が1億円以上5億円未満の「富裕層」、および同5億円以上の「超富裕層」を合わせると126.7万世帯で、内訳は、富裕層が118.3万世帯、超富裕層が8.4万世帯でした(図1)。

図1:純金融資産保有額の階層別にみた保有資産規模と世帯数



- 出所)

国税庁「国税庁統計年報書」、総務省「全国消費実態調査」、厚生労働省「人口動態調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計」、東証「TOPIX」および「NRI 生活者1万人アンケート調査(金融編)」、「NRI 富裕層アンケート調査」などから NRI 推計。

分類	純金融資産額
超富裕層	5億円以上
富裕層	1億円以上5億円未満
準富裕層	5000万円以上1億円未満
アッパー・マス層	3000万円以上5000万円未満 (年収500万～800万円)
マス層	3000万円未満 (年収500万円以下)

富裕層と超富裕層の合計世帯数は 2013 年から増え続け、2017 年は 126.7 万世帯と、推計開始(2000 年)以降最も多かった 2015 年の合計世帯数 121.7 万世帯から約 5 万世帯増加しました。

全国的な世帯数増加を反映して全階層で世帯数は増加していますが、2013 年以降の景気拡大と株価上昇により、純金融資産が 5,000 万円以上 1 億円未満であった「準富裕層」と 1 億円以上 5 億円未満であった富裕層の多くが資産を増やし、それぞれ富裕層・超富裕層に移行する傾向が継続したことが要因と見られます。

■富裕層・超富裕層の純金融資産総額も増加が続く

2015 年から 2017 年にかけて、富裕層および超富裕層の純金融資産総額は、それぞれ 9.1%(197 兆円から 215 兆円)、12.0%(75 兆円から 84 兆円)増加し、両者の合計額は 9.9%(272 兆円から 299 兆円)増えました(表 1)。

表 1: 純金融資産保有額の階層別にみた保有資産規模と世帯数の推移(2000 年～2017 年の推計結果) (注)推計の基となったデータなどは図 1 と同じ

<分類>		2000年	2003年	2005年	2007年	2009年	2011年	2013年	2015年	2017年
超富裕層	純金融資産(兆円)	43	38	46	65	45	44	73	75	84
	世帯数(万世帯)	6.6	5.6	5.2	6.1	5.0	5.0	5.4	7.3	8.4
富裕層	純金融資産(兆円)	128	125	167	189	150	144	168	197	215
	世帯数(万世帯)	76.9	72.0	81.3	84.2	79.5	76.0	95.3	114.4	118.3
準富裕層	純金融資産(兆円)	166	160	182	195	181	196	242	245	247
	世帯数(万世帯)	256.0	245.5	280.4	271.1	269.8	268.7	315.2	314.9	322.2
アッパーマス層	純金融資産(兆円)	201	215	246	254	225	254	264	282	320
	世帯数(万世帯)	575.1	614.0	701.9	659.8	639.2	638.4	651.7	680.8	720.3
マス層	純金融資産(兆円)	503	519	512	470	480	500	539	603	673
	世帯数(万世帯)	3,760.5	3,881.5	3,831.5	3,940.0	4,015.8	4,048.2	4,182.7	4,173.0	4,203.1

富裕層および超富裕層の保有する純金融資産額の増加は、景気拡大と株価上昇によって富裕層および超富裕層の保有資産が拡大したことに加え、金融資産を運用(投資)している準富裕層の一部が富裕層に移行したためと考えられます。また、富裕層・超富裕層である親や祖父母からの相続や、生前贈与を受けて富裕層・超富裕層になった世帯、および自ら起業して新規株式公開(IPO)や事業売却により資産規模を拡大した世帯も増えていると考えられます。(「NRI 親立地アンケート調査」関連記事、省略)

<以下は、NUR の資料を基に兼子が作成したものである>

■**わずか2.36%の富裕層、超富裕層が純金融資産の2割を占有**

○最上位の超富裕層は全世帯数の僅か0.16%に過ぎないが、全金融資産の5.46%を占め、富裕層を含めた2.36%で全金融資産の19.43%を占めている。

○純金融資産額3000万円未満のマス層は全世帯の78%余を占めるが、純金融資産額の43.73%を占めるに過ぎない。

表2 各階層別、世帯数および金融資産占有率

分類	世帯数(万)	占有率	金融資産(兆円)	占有率
超富裕層	8.4	0.16%	84	5.46%
富裕層	118.3	2.20%	215	13.97%
準富裕層	322.2	6.00%	247	16.05%
アッパーマス層	720.3	13.41%	320	20.79%
マス層	4203.1	78.24%	673	43.73%
合計	5372.3	100.00%	1,539	100.00%

- 最上位の超富裕層は 2000－2017 年の間、純金融資産額が95%とほぼ倍額に増えているが、純金融資産額3000万円のマス層は全体の伸び率の48%を下回る34%が増えたに過ぎない。
- この資料は純金融資産総額の推計から見たものであるが 2000－2017 年の間、富裕層は大きくその純金融資産額を増やし、純金融資産総額3000万円未満(年収500万円以下)の層は純金融資産額が相対的に小さい実態を見ることができる。

表3 各階層、純金融資産額(単位:兆円)の推移と 2000－2017 年増加率

分類	2000年	2013年	2015年	2017年	増加率
超富裕層	43	73	75	84	95%
富裕層	128	168	197	215	68%
準富裕層	166	242	245	247	49%
アッパーマス層	201	264	282	320	59%
マス層	503	539	603	673	34%
合計	1,041	1,286	1,402	1,539	48%